

## 1-6 カムイユカラ

### 「エパウ」

#### キツネの神が自叙した神謡

語り手：貝澤とうるしの

サケへ：V =アワ エパウ アワ<sup>1)</sup>

V =awa epaw awa

V1=ア エパウ アワ

V1=a epaw awa

V2=ア エパウ

V2=a epaw

V カムイコタン タ V2

神の村の

V kamuykotan ta V2

シサムコタン タ

和人の村の

sisamkotan ta

V1 クンネチロンヌプ

黒狐が

V1 kunnecironnup

V1 チネ キ ヒネ

私であり、そして

V1 ci=ne ki hine

V1 オカアサワ

暮らしていたところ

V1 oka=as awa

V1 エネ ヤイヌアシ

このように思った

V1 ene yaynu=as h\_i

|                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| V1 アイヌパタ<br>V1 aynupata               | 羨ましい        |
| V1 チロンヌプカムイ V2<br>V1 cironnupkamuy V2 | 狐の神         |
| ウタロロケヘ<br>utarorkehe                  | たちは         |
| V1 アイヌモシッ タ<br>V1 aynumosir_ ta       | 人間の国土で      |
| V1 オカ キ ワ V2<br>V1 oka ki wa V2       | 暮らしていて      |
| マラット ネ コロ<br>maratto ne kor           | 宴の客となって     |
| V1 イナウ ピリカピ<br>V1 inaw pirkapi        | 美しいイナウ（木幣）を |
| V1 コロ ヤク アイェ V2<br>V1 kor yak a=ye V2 | 手に入れると言う    |
| タパンペ タシ<br>tapanpe tasi               | これこのものを     |
| V1 チェコイトウパ<br>V1 c=ekoytupa           | 私は羨む        |
| V1 キ ワクス V2<br>V1 ki wakusu V2        | ので          |
| オロ シネ アンタ<br>or sine anta             | ある日のこと      |

V1 カムイ チネ クス  
V1 kamuy ci=ne kusu

私は神であるので

V1 キナ ペンチャイ  
V1 kina pencay

草の弁財船

V1 ポロ ペンチャイ V2  
V1 poro pencay V2

大きな弁財船を

チカン ルウエ ネ  
ci=kar\_ ruwe ne

私は作り

V1 オロワウン  
V1 orowaun

それから

V1 キナ アイヌ V2  
V1 kina aynu V2

草の人間を

レホッ エ…… レホッ イキリ  
rehot e... rehot ikir

60人の列を

V1 チカン ルウエ ネ V2  
V1 ci=kar\_ ruwe ne V2

私は作り

シエチポヤラ  
siecipoyar

舟を走らせることを

V1 チキ クス  
V1 ci=ki kusu

私はするために

V1 ポロ ペンチャイ  
V1 poro pencay

大きな弁財船を

V1 チカン ルウエ ネ  
V1 ci=kar\_ ruwe ne

私は作り

V1 キ ルウエ ネ アワ V2

そうしていたが

V1 ki ruwe ne awa V2

ヤパシクス

陸に上がるために

yap=as h\_ikusu

V1 ヤパシ アワ V2

岸へ向かって

V1 yap=as awa V2

シエチポヤラ

舟を走らせることを

siecipoyar

V1 チキ キワ

私はして

V1 ci=ki ki wa

V1 ヤパサワ V2

岸に向かうと

V1 yap=as awa V2

(訪問者 (?): こんにちは)

アヤカナ フンナ ハウエ アン<sup>[2]</sup>

びっくりした。誰の声だい？

ayakana hunna hawe an

ポロ ペンチャイ

大きい舟船が

poro pencay

V1 チコッテンカンカリ (?)

私たちが繋がって

V1 ci=kottenkankari(?)

V1 チカン ルウエ ネ

私は作り

V1 ci=kar\_ ruwe ne

V1 チパニ

舟を

V1 cip ani

|  |             |
|--|-------------|
| V1 シエプ…… シエチポヤラ<br>V1 siep... siecipoyar | 走らせることを     |
| V1 チキ ルウエ ネ V2<br>V1 ci=ki ruwe ne V2    | 私はしたのだ      |
| ヤパサワ<br>yap=as awa                       | 岸に向かったが     |
| V1 ヤウンクル アトウイ<br>V1 yaunkur atuy         | 蝦夷地（北海道）の海と |
| V1 レプンクル アトウイ V2<br>V1 repunkur atuy V2  | 沖の方（本州）の海の  |
| アトウイ ウトウル<br>atuy utur                   | 海の間         |
| V1 チェパ キ コロ V2<br>V1 c=epa ki kor V2     | 私がたどり着くと    |
| タン ウェン レラ<br>tan wen rera                | このひどい風      |
| V1 ユプケ レラ<br>V1 yupke rera               | 強い風が        |
| V1 レプン ソッキ ワ<br>V1 repun sotki wa        | 沖の寝床から      |
| V1 ヤン ルウエ ネ<br>V1 yan ruwe ne            | 岸に向かって吹いた   |
| V1 タポロワノ V2<br>V1 tap orowano V2         | それから        |

|                                      |              |
|--------------------------------------|--------------|
| ヤウン カムイ<br>yaun kamuy                | 蝦夷地（北海道）の神が  |
| V1 チェラムハウケ<br>V1 ceramhawke          | 心を静めて        |
| V1 イエカラカラ ワ V2<br>V1 i=ekarkar wa V2 | くれて          |
| アプニタラ<br>apunitara                   | おだやかになって     |
| V1 ヤパシ クニネ<br>V1 yap=as kunine       | 上陸できますように（と） |
| V1 ハウエアナン コロ<br>V1 hawean=an kor     | 私は言いながら      |
| V1 パウセアン コロ<br>V1 pawse=an kor       | パウパウと鳴きながら   |
| V1 ヤパン アイネ<br>V1 yap=an ayne         | 私は岸に向かい、そのうち |
| V1 タネ アナクネ V2<br>V1 tane anakne V2   | 今はもう         |
| ヤウンクル アトウイ<br>yaunkur atuy           | 蝦夷地（北海道）の海   |
| アトウイ ノシキタ<br>atuy noskita            | 海の真ん中に       |
| V1 アラキアン キ コロ<br>V arki=an ki kor    | 私はやってくると     |

|                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| V1 キナ ペンチャイ<br>V1 kina pencay        | 草の弁財船    |
| V1 ネ プ ネ クス V2<br>V1 ne p ne kusu V2 | なので      |
| エアラキンネ<br>earkinne                   | とても      |
| V1 タネ アナクネ<br>V1 tane anakne         | 最早       |
| V1 ラウオシマ アンキ<br>V1 rawosma anki      | 沈みそうになった |
| V1 フマシ ルウエ V2<br>V1 humas ruwe V2    | ようである    |
| イキ ア コロカ<br>iki a korka              | ではあるが    |
| V1 ラッチタラ<br>V1 ratcitara             | ゆっくりと    |
| V1 アプニタラ V2<br>V1 apunitara V2       | おだやかに    |
| タネ ヘヤシ<br>tane heyasi                | 今は陸（おか）を |
| V1 インカラン コロ<br>V1 inkar=an kor       | 見てみると    |
| V1 キナ ネクス V2<br>V1 kina nekusu V2    | 草であるので   |

|                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| ペネ ワ イサム<br>pene wa isam          | 溶けてしまった    |
| V1 ル ワ イサム<br>V1 ru wa isam       | 溶けてしまった    |
| V1 キナアイヌ カ<br>V1 kinaaynu ka      | 草の人間も      |
| V1 キナ ネクス V2<br>V1 kina nekusu V2 | 草なので       |
| モム マ イサム<br>mom w_a isam          | 流れてしまった    |
| V1 オロワノ<br>V1 orowano             | それから       |
| V1 マ ネ マヌ プ<br>V1 ma ne manu p    | 泳ぐということを   |
| V1 チキ キ アニ<br>V1 ci=ki ki ani     | 私はして、それで   |
| V1 イキアナイネ V2<br>V1 iki=an ayne V2 | 私がしているうちに  |
| ヤウンクル アトウイ<br>yaunkur atuy        | 蝦夷地（北海道）の海 |
| アトウイ パロツ タ<br>atuy par or_ ta     | 海の入口へ      |
| V1 ヤナン コロカ<br>V1 yan=an korka     | 登ったが       |



V1 アプカシ ポカ V2

歩くことばかりも

V1 apkas poka V2

アアンヌクリ<sup>[3]</sup>

私はたいへん億劫で

a=annukuri

V1 イキアナイネ

いるうちに

V1 iki=an ayne

V1 サクン…… サ ウン マサラ

前の方の草原（浜）へ

V1 sakun... sa un masar

V1 マクン マサラ

奥の草原（浜）へ

V1 makun masar

V1 マサラ ウトウツ タ V2

浜辺の草原の間に

V1 masar utur\_ ta V2

ホッケアン キ ワ

寝ていたが

hotke=an ki wa

V1 ヤイヘセレ

自ら息をして

V1 yayhesere

V1 アキ コロ アナン V2

私はしながらいた

V1 a=ki kor an=an V2

キ アクス

していたが、

ki akusu

(ここから散文)

シンキアン マ アナニネ キ プ ネ クス

sinki=an w\_a an=an h\_ine ki p ne kusu

私は疲れて

ヤイヘセレアニネ アナナワ  
yayhesere=an h\_ine an=an awa  
息をしていたが、

アイヌ カ ソンノ ウタラパ ネ ノイネ アン オッカヨ サン ヒネ  
aynu ka sonno utarpa ne noyne an okkayo san hine  
人間なのであろうか本当に立派な様子の男（首領）が下って来て、

タシロ エタイテクテキネ  
tasiro etaytektek h\_ine  
タシロ（山刀）をさっと抜き

ホリピ トウラ イケウエホムス ハウエ エネ アニ  
horipi tura ikewehomsu hawe ene an h\_i  
踊りと共に魔を払う儀式を行い、このように言った

「シパセカムイ ネ ノイネ アン ペ  
“sipasekamuy ne noyne an pe  
「位の高い神とお見受けするお方、

マクネ ルウエ シペコピチチチ<sup>[4]</sup> ヒネ エネ アニ アン？」  
makne ruwe sipekopicicici hine ene an h\_i an?”  
なぜ全身ずぶ濡れになって、そのようにしているのか？」

セコロ ハウエアン ヒ クス  
sekor hawean hi kusu  
と言うので、

コチャヌプコロ クニネ コタヌ コパクン ウニ コパクン  
kocanupkor kunine kotanu kopak un uni kopak un  
目指していた村の方へ家の方へ

エトウトウリトウリアナクス エネ イタキ。  
etuturituri=an akusu ene itak h\_i.  
私は鼻を伸ばす（そっちのほうに顔を突き出す）と、男はこのように言った。

「カムイ ネ アン クル イオシ エイトウラ ワ イコレ

“kamuy ne an kur i=os e=i=tura wa i=kore

「神であるお方、私の後から一緒に来ていただき、

ウエンタラプ ヘネ イキレ ヤク エアシリ カムイ ネ アカラ クスネ ナ」

wentarap hene i=kire yak easir kamuy ne a=kar kusune na”

私に夢を見せるなどして下さるならば神の姿に私はしてさしあげますよ」

セコロ ハウエアン ヒ クス セタ イトウラ シンネノ カネ

sekor hawean hi kusu seta itura sinneno kane

と言うので犬が人について行くようにして、

オサラパアナクス タプ サ……

os arpa=an akusu tap sa…

後から私がついて行くと、今……

マクン マサラ マサラ オシマク タ インネ コタン アン アアニネ

makun masar masar osmak ta inne kotan an aan h\_inne

奥の草原（浜）、草原（浜）の背後にはにぎわった村があり、

ヌサ オルン アラパ イ クス

nusa or un arpa h\_i kusu

男が祭壇のところへ行ったので

イナウチパ オッ タ アラパアニネ アアナクス

inawcipa or\_ ta arpa=an h\_inne an=an akusu

幣場（イナウチパ）に私が行ってそこにいると、

カムイ フチ オロ タ アフニネ イイエ アン ペ こんど

kamuy huci oro ta ahun h\_inne i=ye an pe KONDO

男は神の媼のところ（家の中）に入って、私のことを告げると、

カムイ フチ クワ エテテ エテテ カネ ヒネ ソイネ ヒネ イケウエホムス。

kamuy huci kuwa etete etete kane hine soyne hine i=kewehomsu.

神の媼は杖をつきつき、戸外へ出て私をねぎらった。

イケウエホムス ハウエ エネ アニ

**i=kewehomsu hawe ene an h\_i**

私にこのようなねぎらいの言葉を言った。

「オヨイ クンネチロンヌプカムイ カムイ ウタラパ エネ ヒネ

**“oyoy kunnecironnupkamuy kamuy utarpa e=ne hine**

「これはなんと、黒狐の神、神の首領であるあなたが、

ヤウンモシルン エヤン ルスイ クス

**yaunmosir un e=yan rusuy kusu**

蝦夷地（北海道）へあなたは上陸したいので、

アイヌ オルン エヤン ワ イナウ ピリカプ エエシトムテヤン ルスイ クス

**aynu or un e=yan wa inaw pirkap e=esitomteyar\_ rusuy kusu**

人間のところへ上がって美しいイナウ（木幣）で自らを飾りたいと望んだので、

エヤナ アン ペ オロヤチキ

**e=yan aan pe oroyaciki**

上陸して、おそらく、

キナペンチャイ エカラ ペ ネ クス

**kinapencay e=kar pe ne kusu kina ne kusu**

あなたは草の舟財船を作ったので、

キナ ネ クス ル ワ イサム ペネ ワ イサム ヤッカ

**ru wa isam pene wa isam yakka**

草であるため（船は）溶け（ru）で無くなり、溶け（pene）で無くなったけれども、

セレマク エコロ オラ ヤウンカムイ カ エシコエハンケレ ワ

**sermak e=kor ora yaunkamuy ka e=sikoehankere wa**

守り神があなたにいたので、蝦夷地（北海道）の神も、あなたを自分のほうに近づけたので

エヤン ルウエ ネ ナ。

**e=yan ruwe ne na.**

あなたは上陸したのですよ。

アレンカイネ ネ クス カムイ ネ アエカラ クス ネ ナ。

**a=renkayne ne kusu kamuy ne a=e=kar kusu ne na.**

私の力添えであなたは神様としてまつられますよ。

カムイ ネ アン クニ ラム」

**kamuy ne an kuni ramu”**

神になるのだと思いなさい。」

セコロ ハウエアン コロ

**sekor hawean kor**

と言いながら

イコプンテク したんだと ルウェ ネ ヒネ

**i=kopuntek SITANDATO ruwe ne hine**

私のことを祝福してくれました。

オラ ネ アイヌ ニシパ ソイネ ヒネ イチョッチャ アヤニ キ イネ

**ora ne aynu nispa soyne hine i=cotca ay ani ki h\_in**

それからそこでその人間のニシパ（徳の高い人）が外に出てきて私を矢で射ました。

エアラ アイ アウキネ マラット ネ アン ルウェ ネ アクス

**ear ay a=uk h\_in maratto ne an ruwe ne akusu**

一本の矢を私は受け取り、客人となったため、

それくす イナウ ピリカプ アエイコイトウパ プ ネ クス

**SOREKUSU inaw pirkap a=eykoytupa p ne kusu**

それこそ、美しいイナウを私は羨む者なので、

イナウ ピリカプ アイエトムテカラ

**inaw pirkap a=i=etomtekar**

美しいイナウで私は飾られ、

オラノ カムイ フチ カ イコプンテカ イコプンテカ。

**orano kamuy huci ka i=kopuntek a i=kopuntek a.**

それから神の媼も私を誉めそやし誉めそやした。

オラウン ヤウンモシッ タ オカ クンネチロンヌプ アシコエハンケレ ワ  
oraun yaunmosir\_ ta oka kunnecironnup a=sikoehankere wa  
それから蝦夷地（北海道）にいる黒狐を私は自分のほうへ呼び寄せ、

ネア ニシパ トウラノ セレマカウシ クニ カ アウエンタラプテ  
nea nispa turano sermak a=us kuni ka a=wentarapte  
ともに例のニシパの守り神となることを、私は（ニシパに）夢を見させ、

アイイワクテ プ ネ クス イナウ ピリカプ アイコレ  
a=i=iwakte p ne kusu inaw pirkap a=i=kore  
（ニシパが私の魂を）送ってくれる時に美しいイナウを与えてくれるように、

カムイ フチ イカシパオツテ  
kamuy huci i=kaspaotte  
神の媼が命じて、

イコプンテカ イコプンテカ コロ キ ワ クス  
i=kopuntek a i=kopuntek a kor ki wa kusu  
私を誉めそやし誉めそやしてくれたので、

アイヌモシッ タ ヤナン ワ クンネチロンヌプ カムイ アネ ワ  
aynumosir\_ ta yan=an wa kunnecironnup kamuy a=ne wa  
蝦夷地（北海道）へ上陸してから私は黒狐神になり、

アウタリヒ アエウタンネ ワ アエヤイコプンテク コロ アナン ルウェ ネ ナ。  
a=utarihi a=eutanne wa a=eyaykopuntek kor an=an ruwe ne na.  
私の仲間たち（北海道にいる黒狐たち）と一緒に暮らし、私は喜びながらいるのですよ。

タネ オカ クンネチロンヌプ  
tane oka kunnecironnup  
これからの黒狐は、

アイヌ オルン イテキ ウェンノ…… ウェン ケウトウム コロ ヤン。  
aynu or un iteki wenno... wen kewtum kor yan.  
人間に対してけっして悪い精神を持たないように、

セコロ クンネチロンヌプ イソイタク したと

sekor kunnecironnup isoytak SITATO

と黒狐が語りました。

フッタッチプ だって言うもの、フッタッってゆったって、あのトプ ハムさ、  
huttatcip だって言うもの、huttat ってゆったって、あの top ham さ、  
笹舟だと言うの、フッタッと言うのは、竹の葉さ。

トプ ハム のに カムイ ネ クス

top ham NONI kamuy ne kusu

竹の葉で神であるので

レホッ エウトウラ ペンチャイ やったんだって言うもの

rehot eutura pencay やったんだって言うもの

60人（草人間を）つれて来たと言うだんね。

（萱野茂：レホッ つたら60かい？）<sup>[5]</sup>

（萱野茂：rehot つたら60かい？）

レホッっていったら60よ。

rehot っていったら60よ。

（萱野茂：60だな）

#### 【注】

- [1] この kamuyyukar の sakehe 「折り返し」は、非常に特徴的なもので、ア エパウ アワ a epaw awa (V1で示す) を行頭に繰り返すが、2～4句ごとに行末にア エパウ a epaw (V2で示す) という sakehe を置いて、少しポーズをとる。そして次の行は行頭の sakehe 無で始めるという形式になっている。つまり、3行から5行くらいがひとつのまとまった単位として語られている。このように行を超えた単位を sakehe で区切る謡い方の例は他にも見られるが、非常に数は少ない。
- [2] この1行は、訪問者が来たことに対して語り手がもらった言葉であって、物語の一部ではない。
- [3] アンヌクリ annukur は アラ- ar- 「まったく」ヌクリ nukuri 「大儀で～したくない」。
- [4] シペコピチチチ sipekopicicici は si- 「自分に」 pe 「水分」 ko- 「～に対して」

picicici「放す（重複形）。なお、『沙流方言辞典』（P56）などには cipekopicici「体からしづくが落ちるくらいぬれる」という語がある。

[5] 以下、萱野茂氏が語り手である貝澤とうるしのさんに質問し、とうるしのさんがそれに答えている。